

IP-HE950E V01L031 変更内容一覧

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L030	HD(1080i)映像の符号化において、ごく稀に画面右下に映像の劣化が生じる事がある問題の対処。

IP-HE950E V01L030 変更内容一覧(公開日 : 2018 年 11 月 12 日)

□ 新規追加項目

No.	項目	内容
1	ビデオ符号化	エンコーダー-1 で H.264/AVC に対応。 (DVB-ASI から H.264/AVC ストリーム配信可能)
2	ビデオ解像度	対応する解像度を追加。 SD(480i, 576i) H.265 : 1080i x 1440
3	プレフィルター	プレフィルター(ビデオ符号化前処理)強化。 フィルター強度を拡張 1080i 以外にも適用
4	オーディオ符号化	対応する符号化に以下を追加。 MPEG-4 AAC LC MPEG-4 AAC ELD チャンネルモード : 5.1ch、4ch(2/2)、4ch(3/1)
5	符号化レート	最大符号化レートを拡大。 ビデオレート : 68Mbps(V01L021 までは 58Mbps) システムレート : 70Mbps(V01L021 までは 60Mbps)
6	IPv6 対応	装置制御、ストリーム配信で IPv6 に対応。 プロトコル : http、SNMP、NTP、RTP、MLDv2
7	IP ネットワーク冗長機能	LAN1、LAN2 から同時にストリーム配信する際に受信側を考慮した設定を追加。
8	HD x 4 チャンネル伝送機能	HD(1080i) x 4 チャンネル伝送機能(IP-HE950D と対向で動作)を追加。機能利用には下記オプションが必要。 「4K エンコーダーオプション」 「素材伝送エンコーダーオプション」 「Quad 3G-SDI 入力オプション」

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L010～V01L021	以下の条件においてSNMPマネージャーでトラップを認識できない問題の対処。 SNMPv2c のトラップ送信設定で、アラーム名称と詳細パラメータの文字数が 52 文字以上の場合にパケットフォーマットが不正となることがある。

IP-HE950E V01L021 変更内容一覧(公開日 : 2018 年 5 月 24 日)

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001～V01L020	PCR が 100ms を超えることがある問題の対処。
2	V01L001～V01L020	設定したシステムレートよりも実際に出力されるシステムレートが低くなる問題の対処。
3	V01L001～V01L020	SNMP Trap の Variable Binding 内の OID 情報が起動のタイミングにより0になり、SNMPマネージャーでアラーム詳細が識別できない場合がある問題の対処。
4	V01L020	4K 映像をウルトラ低遅延でエンコードし伝送すると、デコーダ出力がフリーズすることがある問題の対処。
5	V01L020	高伝送レートでアンシラリーデータ伝送を行うと、PCR ジッタが発生する問題の対処。
6	V01L020	SDI アクティブスルー信号のラインナンバーが 1 ラインずれ、SDI アナライザで「L NUM ERR」を検出する問題の対処。
7	V01L020	下記の設定でソフトウェア異常が発生する問題の対処。 ビデオ : 4K、ウルトラ低遅延 オーディオ : MPEG-2 AAC LC 128kbps アンシラリーデータ伝送を行う
8	V01L020	オーディオ入力をアナログからエンベデッドに変更した場合、設定画面では正常に設定できるが、実際の入力がエンベデッドに切り替わらない問題の対処。(再起動によりエンベデッドに切り替っていた。)

IP-HE950E V01L020 変更内容一覧(公開日：2017年12月11日)

□ 新規追加項目

No.	項目	内容
1	オーディオチャンネル数	オーディオ符号化チャンネル数を拡大。 素材伝送オプション：8ch 上記オプションなし：4ch
2	アンシラリーデータ伝送	SMPTE ST 2038/ARIB STD-B40 に準拠しアンシラリーデータを伝送。素材伝送オプション要。
3	低遅延対応	超低遅延モード(99ms～)に対応。従来モードも約 100ms 低遅延化。(実際の遅延量はビデオフォーマットや関連する設定値により変動。)
4	SDI 入力のスルーアウト	SDI 出力オプション(SFP)を追加。本体側 SDI 入力のスルーアウト(アクティブスルー)に対応。
5	アナログオーディオ入力	アナログオーディオ入力(2ch)に対応。インターフェースはオプションの平衡音声ケーブル。

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001～V01L010	装置起動時のログ時刻が「2016/1/1 0:00」となる問題の対処。
2	V01L001～V01L010	電源 ON および Web やフロントパネルからのソフトリセットで装置が起動しない場合がある問題の対処。 (一部のハードウェアで発生する場合がある。)
3	V01L001～V01L011	MPEG-2 AAC の Stream_id が Private_stream_1 に誤って設定される問題の対処。

IP-HE950E V01L010 変更内容一覧(公開日 : 2017 年 8 月 8 日)

□ 新規追加項目

No.	項目	内容
1	ビデオ周波数	2160p x 3840/29.97Hz(入力は Quad Link)、 全解像度で 50Hz に対応。
2	ビデオ符号化	ビデオ信号 2160p で制限としていた以下に対応。 H.265 プロファイル : Main 422、Main 10
3	プレフィルター	1080i のビデオ入力の場合にプレフィルター設定可能。
4	オーディオ符号化	MPEG-1 レイヤ 2、SMPTE302M [20bit/24bit] に対応。
5	デュアルエンコード機能	エンコーダー 2 : H.264 に対応(ビデオ入力 : 1080i)。
6	BISS 機能	BISS-1/E 機能追加。 機能利用には「BISS スクランプラオプション」要
7	WEB 画面	WEB 画面の表示言語に英語を追加。
8	フロントパネル	表示項目、設定項目を強化。
9	SNMP 制御機能	SNMP 拡張 MIB による制御機能に対応。 MIB ファイルは WEB 画面よりダウンロード

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V01L001	省電カイーサネット(Energy Efficient Ethernet)機器と接続した 際に相互調整機能が正しく機能せずにパケットロスが発生することがあ る問題の対処。
2	V01L001	TS(トランスポートストリーム)内の PAT/PMT で CRC エラーが発生す る問題の対処。